

ごみ袋について

◎新作のごみ袋を使ってみた。使いやすくなったが入れる量が少なくなったのでは。新作ごみ袋の市民の評価はどうか。

<回答>

衛生組合の行ったアンケート結果から、使用された方の76%の方が「販売されたら購入する」との意見をいただいています。

また、従来の長さの上に持ち手部分を足して、入る量が多くなるよう試作しましたが、長くなりすぎて運びにくい、底が擦れて破れるといった意見もいただいています。

◎小松島市のごみ袋は、無地の市販のごみ袋と比べると高過ぎるのではないか。

<回答>

環境に配慮した素材であること、また焼却炉への負担の少ない材質と、適正な強度の確保を図りつつ、内容物が確認できるよう半透明のものとしています。指定袋であることから、分別する内容物別の印字も行っており、適正に収集するために市が指定したごみ袋としています。

また、県内の他市町村と比べましても、本市の価格は平均以下であり、指定ごみ袋としては標準的な価格となっています。

こうしたことも踏まえて、価格については市販の物とは違い市が定めておりますので、ご理解をよろしくお願いいたします。

◎ごみ袋販売事業で、平成26年度予算が3,770万円となっているが、どういうことか。

<回答>

平成26年度予算については、原材料の高騰やレジ袋型・不燃ごみ袋の特小サイズ導入の検討などを見込んだ予算計上を行っているため、昨年度より予算額は増加しています。

◎ごみ袋の価格が高い。市民への還元はどのようにされているか。

<回答>

ごみ処理事業に係る経費は、年間6億円以上必要となっています。こうした経費が少しでも削減できるよう、ごみ減量化に向けた啓発などの取り組みも行っており、ご理解をいただきますようお願いします。